

情報公開文書

1. はじめに

現在、iPS 細胞研究所・特定拠点教授 戸口田淳也が研究責任者として、疾患特異的 iPS 細胞を用いた下記の研究課題を実施しています。本研究は京都大学医生物学研究所医の倫理委員会ならびに京都大学医の倫理委員会にて審査され京都大学医生物学研究所長ならびに京都大学医学部附属病院長に許可されたものです。

2. 研究課題名

難治性骨軟骨疾患に対する革新的 iPS 創薬技術の開発と応用（研究受付番号：G1133-6）

3. 研究の目的

本研究では、疾患特異的 iPS 細胞を用いて骨・軟骨疾患の病態を解明し、新たな治療へとつながる知見を得ることを目的とします。

4. 研究期間

研究機関の長の許可日～令和 8 年 3 月 3 1 日

5. 利用または提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日

6. 利用または提供する試料・情報の項目

本研究にて新しく募集する検体やその情報以外に、これまで既に得られている下記の試料や情報を用いて研究を行います。

（試料）研究計画「ヒト疾患特異的 iPS 細胞の作成とそれを用いた疾患解析に関する研究」（R0091）ならびに「ヒト疾患特異的 iPS 細胞を用いた遺伝子解析研究」（G0259）にて樹立された iPS 細胞とその DNA

（情報）R0091 及び G0259 で取得された、樹立された iPS 細胞に関する、性別、疾患名、疾患に関する臨床情報、遺伝子解析情報

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

疾患特異的 iPS 細胞を用いて骨・軟骨細胞などの疾患に関係する細胞を誘導し骨・軟骨疾患の病態を再現し解析します。また得られた DNA 情報を用いて疾患に関与するとされる遺伝子がどの様に病態に関わっているのかを明らかにします。

8 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名

京都大学 iPS 細胞研究所・特定拠点教授

戸口田 淳也

9. 研究の資金および利益相反

この研究は、Cell Exosome Therapeutics 株式会社からの受託研究費および研究助成金を用いて実施されています。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

10. 連絡先

本研究関する研究に関する資料の閲覧（個人情報ならびに知的財産の保護等に支障がない範囲になります）を希望される方、研究への利用の中止や外部への提供の停止またはその他の相談を希望される研究対象者の方は、下記連絡先までご連絡ください。

戸口田淳也・京都大学 iPS 細胞研究所

電話 075-366-7070

「ヒト疾患特異的 iPS 細胞の作成とそれを用いた疾患解析に関する研究」ならびに「ヒト疾患特異的 iPS 細胞を用いた遺伝子解析研究」の研究対象者の場合には下記リンクの連絡先をご参照下さい。

[ヒト疾患特異的 iPS 細胞研究へのご協力に同意いただいた方へ](http://ips.kuhp.kyoto-u.ac.jp/guide/create/for_cooperator.html)

http://ips.kuhp.kyoto-u.ac.jp/guide/create/for_cooperator.html